



都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育

文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」

都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育

平成24～28年度 成果報告書



大学院 医療健康科学研究科

目次

あいさつ	2P
1. がんプロフェッショナル養成基盤推進プランの概要 ...	4P
2. 修士課程設置コース	5P
①がん地域遠隔画像診断支援技術者養成コース	
②医学物理士養成コース	
3. 教育環境	7P
①7号館105教場	
②医学物理教育コース認定	
4. 産学連携	8P
①北斗病院	
②がん研有明病院	
5. e-learningシステム	9P
①遠隔画像診断支援ネットワークシステム(e-KOMA imaging)	
②がんプロ全国e-learningクラウド事業への参加	
6. セミナー等の開催	13P
7. 子どもに対するがん教育	24P
①連携4大学合同市民公開シンポジウム	
②「がん教育」出張授業	
8. 連携大学合同事業	25P
①合同カンファレンス	
②合同シンポジウム	
9. コース受講生のコメント・進路の内訳	29P



駒澤大学 廣瀬 良弘 学長

「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」事業 (都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育) プログラム終了にあたり

文部科学省の補助金事業である「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」事業において、東京女子医科大学、杏林大学、帝京大学、駒澤大学の4大学連携により平成24年度から平成28年度までの5年間、「都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育」プログラムを実施してまいりました。多くが文系学部である本学において、医療健康科学部及び大学院医療健康科学研究科は唯一の理系となりますが、その中においてがんプロ事業に参加できたことは大変意義のあることです。

本学は、仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする大学です。本学で学んだ学生は、目まぐるしく変化する医療現場において、がん患者に寄り添い、心配りのできる医療人となることでしょう。卒業生の今後益々の活躍を祈念いたします。

最後に、本事業の実施にあたり、社会医療法人北斗 北斗病院(北海道帯広市)と公益財団法人がん研究会 がん研有明病院(東京都江東区)には、大変なご尽力・ご協力をいただきました。本がんプログループにご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。



医療健康科学研究科 吉川 宏起 教授

医学物理士養成教育の充実化

平成24年度から5年間にわたる東京女子医科大学を中心とする本学を含む4大学の第二期『がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン;都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育』は本年度をもって終了する。

この事業の中で駒澤大学医療健康科学研究科ではがん専門放射線技師及び医学物理士を養成するために修士(博士前期)課程に『がん地域遠隔画像診断支援技術者養成コース』と『医学物理士養成コース』を新たに2コース開設した。前者では臨床医等へ主として「がん」を対象とする画像読影支援を行うことの出来る専門職の育成、後者では放射線を用いたがん治療が患者のために適切かつ安全に実施されるよう医学物理学の専門家として放射線治療医を支援することのできる医学物理士の育成を目指し、両コース合わせて受入実績16名、うち8名の修了生を輩出している。また『医学物理士養成コース』は、平成28年度より医学物理士認定機構より医学物理教育コース認定(放射線治療分野)を受けた。

今後は両コースの継続とさらなる充実化を図って、放射線診断分野や核医学分野における教育コース申請を行っていく方針である。



医療健康科学研究科 奥山 康男 教授

子どもたちを対象とした「がん教育」の意義

平成26年10月1日の第187回衆議院本会議にて安倍総理は、「がん対策の取り組みの1つとして、がん検診の受診率向上のための取り組みを進めるとともに、児童生徒に対するがんの教育について、現在行っているモデル事業の成果を踏まえ検討を進めている」との答弁でした。この様な背景を基に駒澤大学では、がんプロ事業の一環として小学校高学年生から中学生や高校生を対象とした「がん教育」の出張授業を2年前より実施しています。… < *実績: 杉並区立三谷小学校 (PTA対象)、埼玉県立大宮南高校、杉並区立高井戸中学校 >

その主意は「早い時期からがん教育に触れ」、「将来望ましい生活習慣を身につけ」、「がん検診に対する意識を高め」、「身近な大切な人に検診を積極的に促してもらおう」ことが本プロジェクトのネライです。実際の講義内容は「がんの予防法と検診の大切さ」をスローガンに掲げ、「がんの基礎」や「がんが治る確率は約6割で早期がんならば9割以上は防げる」こと等を学年に応じた表現で教えます。

授業終了後のアンケート結果では、「がんは怖くて治せない病気というイメージでしたが、がんは防ぐことや自分たちでコントロール出来るもの」との感想が多く、また「がん教育」は人を感じる気持ちを深めるだけでなく、生命の尊さについても考えてもらえます。昨今のイジメによる安易な殺人や自死など、限りある命を一生懸命大切に生きることを説く教育であると思っています。



医療健康科学研究科 嶋田 守男 教授

遠隔画像診断支援教育用ソフト(e-KOMA imaging)の開発と活用

平成24年度より駒澤キャンパスにおいて、ITnetと協力して開発した遠隔画像診断支援ネットワークシステムを導入した。同年北斗病院(北海道・帯広市)と産学連携協定を締結し画像情報および臨床情報を取得出来るネットワークインフラ環境を構築した。

平成25年～26年に於いては、北斗病院からのCTおよびMRI画像、それらの臨床情報ならびに画像診断レポート情報を用いて遠隔画像診断支援教育用の症例データベースを作成した。これらを元に、画像解剖や代表的疾患の診断支援の習得を目的とする設問形式の教育用ソフト(e-KOMA imaging)を開発した。設問へ解答する際は臨床現場で実際に行う診断作業と同じ状況で対峙することができるため、画像診断支援教育の効率化につながった。

平成27年度はe-KOMA imagingを学内および自宅のインターネット環境で使用できるようe-learningシステムの開発を行った。これにより、教員は院生のシステム使用状況や成績管理が可能となった。院生は自己採点システムにより、講義や演習の予習・復習が自宅でも可能となり、獲得した知識をより確実なものとする教育環境の整備につながった。

平成28年度からは連携する4大学間でe-learningシステムを相互利用することが可能となっており、今後は看護師や薬剤師など他職種間での有機的利用を目指している。さらに、このe-learningシステムをスマートフォンやタブレットといったモバイル端末でも使用できるように実現を目指している。

e-KOMA imagingを利用することにより、質・量ともに多様化する都市がん地域医療を担うことのできる次世代の画像がわかる、がん医療人リーダーを養成することが可能になると考えられる。

1. がんプロフェッショナル養成基盤推進プランの概要

東京女子医科大学、杏林大学、帝京大学、駒澤大学 「都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育」

①本事業の取り組みについて

本事業は都市部における地域がん医療のコーディネータとなる医療者を養成する取組です。東京都では、がん患者の生活環境や要望は大きく異なる上に急速に高齢化が進行し、急性期から在宅医療までの地域がん医療連携の効率化が急務となっています。

しかしながら、地域医療のコーディネート能力のある医師や看護師は極めて不足しているため、大学の総力を結集し、患者・家族の視点に立ちながら、質・量ともに多様化する都市型がん地域医療を担うことのできる次世代のがん医療人リーダーを養成していきます。

②本事業の目的

本事業の目的は、4大学の総力を結集し、共通コースとして都市型がん地域医療を担うがん医療人の養成を行なうとともに、各大学が有する世界的水準のリソースを共有し、最新のICT技術を活用して連携することにより、次世代の優れたがん医療のリーダーの育成を目指します。

東京都におけるがん地域連携体制の改善に資するため、地域がん医療コーディネータの養成をはかり、国民に急性期から在宅医療までの切れ目のないがん医療を提供します。また最先端医理工学や新薬開発につながる臨床試験の研究者の養成は、新たな医工学連携や産学共同研究に進み、わが国の革新的医薬品・医療機器創出へとつなげます。

補助金終了後も4大学での連携体制を継続維持するとともに、教員、研究者ならびに院生の相互交流、大学院における単位互換も継承して、プログラムを継続的な事業として確立することを目的としています。

2. 修士課程設置コース

①がん地域遠隔画像診断支援技術者養成コース

コースの名称	がん地域遠隔画像診断支援技術者養成コース						
養成する専門分野	診療放射線技師						
コースの開始時期	平成25年4月	修業年限(期間)	2年				
コースの履修対象者	医療健康科学研究科 診療放射線学専攻 修士課程大学院生						
養成する人材像	単独でがん地域連携遠隔画像診断における標準化に対する問題点の解決、画像データの精度管理やセキュリティ対策を目指すリスクマネジメントの遂行が行える技術者の養成を目指す。						
当該人材養成により期待される成果や効果(アウトカム)	<p>①医療情報システムの標準化の実現により申請3大学間および地域医療機関間の連携を円滑にし、各がん診療現場での画像の有効活用が可能となる。</p> <p>②重複検査の防止による医療費適正化や医療放射線被ばく低減が可能となる。</p> <p>③セキュリティ対策により、患者満足度の高い医療の提供が実現する。</p>						
教育内容の特色等	<p>①医療画像システムの標準化における各階層(医療機関内、医療機関間、統一検査コードなど)の問題点とその解決法の習得</p> <p>②医療画像データの質に関する標準化と精度管理法の習得</p> <p>③医療情報に関するセキュリティ対策とそれに必要なリスクマネジメント手法の習得</p> <p>⑤e-learningを用いた遠隔学習を併行して行うことで、知識の定着度の測定や習熟度別の個別講義・補習が可能となる。</p>						
修了要件・履修方法	<p>①大学院に2年以上在籍すること。</p> <p>②診療画像学特別研究Ⅰ、Ⅱ(8単位)を含み、合計30単位以上を修得すること。但し、必修科目を6科目(12単位)、選択必修科目を3科目(6単位)履修すること。</p>						
履修科目等	<p>①必修科目(2単位)：医用画像処理特論、画像伝送処理特論、医療ネットワーク特論、診断画像情報学特論、臨床画像学特論、がん診断総合演習(2単位)</p> <p>②演習、特別研究(4単位)：診療画像学特別研究Ⅰ、Ⅱ</p>						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	—	2	2	2	2	8
	受入人数	—	3	2	0	3	8

②医学物理士養成コース

コースの名称	医学物理士養成コース						
養成する専門分野	医学物理士、放射線治療品質管理士						
コースの開始時期	平成26年4月	修業年限(期間)	2年				
コースの履修対象者	医療健康科学研究科 診療放射線学専攻 修士課程大学院生						
養成する人材像	高精度放射線治療の物理的、技術的基礎の確保し、放射線治療における線量分布の最適化と評価、治療制度の検証と評価、高い安全性を確保できる能力を有する技術者の養成を目指す。						
当該人材養成により期待される成果や効果(アウトカム)	<p>①高精度放射線治療の物理的、技術的基礎の確保による高品質かつ安全性の高い放射線治療が実践されるようになる。</p> <p>②本教育コースの習得によって、医学物理士(医学物理士認定機構)や放射線治療品質管理士(放射線治療品質管理機構)または、放射線治療専門技師(日本放射線治療専門技師認定機構)が認定する資格取得を目指す。</p>						
教育内容の特色等	<p>①放射線治療担当技師や医学物理士を目指す診療放射線技師を受け入れて、放射線医学物理学等の基礎に関して再教育を行い、大学院教育の活性化及び今後のがん医療を担う医療人の養成を推進する。</p> <p>②高精度放射線治療の物理的、技術的基礎知識を確保し、放射線治療における線量分布や位置決めの評価法を習得し、高い安全性を確保する。</p> <p>③e-learningを用いての標準線量測定法を確立し、精度管理と適正な品質管理の質の向上を実現する。また、習熟度別の講義・補習が可能となる。</p>						
修了要件・履修方法	<p>①大学院に2年以上在籍すること。</p> <p>②医用計測学特別研究Ⅰ、Ⅱ(8単位)を含み、合計30単位以上を修得すること。但し、必修科目を6科目(12単位)、選択必修科目を3科目(6単位)履修すること。</p>						
履修科目等	<p>①必修科目(2単位)：放射線治療学特論、放射線治療技術学特論、放射線腫瘍学特論、放射線治療品質管理学特論、医用粒子線学特論、放射線治療総合演習</p> <p>②特別研究(4単位)：医用計測学特別研究Ⅰ、Ⅱ</p>						
養成人数	年度	H24	H25	H26	H27	H28	計
	募集人員	—	—	2	2	2	6
	受入人数	—	—	3	3	3	9

3. 教育環境

①7号館105教場



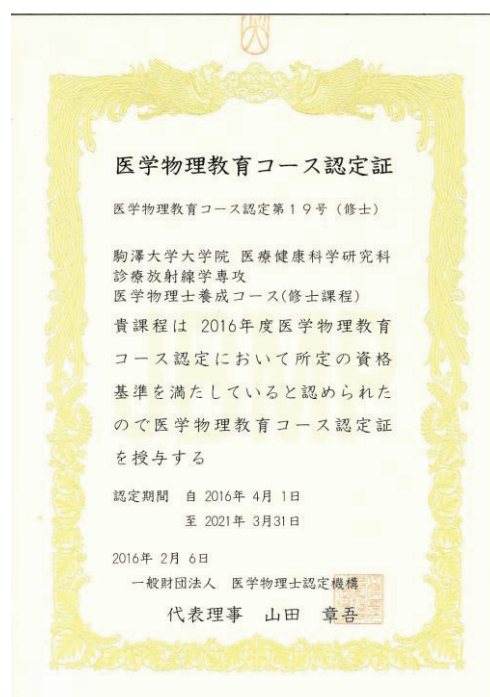
平成24年より、駒沢キャンパスの7号館105教場において、株式会社アイティーネットと協力して開発した、遠隔画像診断支援ネットワークシステム（e-KOMA imaging）を導入しています。

学生からは、読影時に前後の画像を効率良く見ることが出来ると大変好評です。

②医学物理教育コース認定

平成28年4月より、一般財団法人医学物理士認定機構より、本学の医学物理士養成コース(修士課程)のカリキュラムが、医学物理教育コースとして認定されました。

これにより、コース修了者は医学物理士認定の際、優遇措置を受けられるようになりました。



4. 産学連携

① 北斗病院



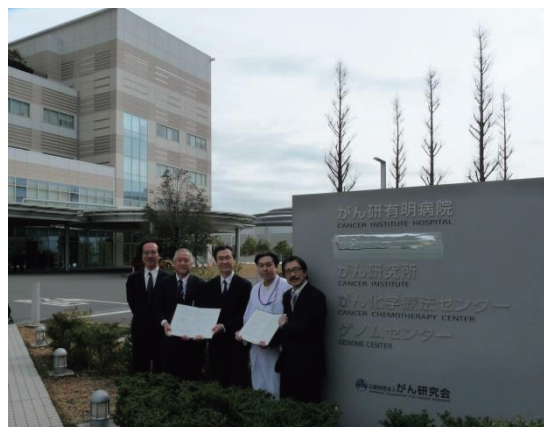
平成24年より、本学と北斗病院（北海道・帯広市）で連携協力の協定を締結しております。

北斗病院より、臨床現場で撮影された医用画像等をご提供いただいております。遠隔画像診断支援ネットワークシステム（e-KOMA imaging）にて活用しています。

② がん研有明病院

平成25年より、本学とがん研有明病院（東京都・江東区）で連携協力の協定を締結しております。

がん研有明病院では、本学の修士課程教育における実習・演習科目等について、ご協力いただいております。



5. e-learningシステム

①遠隔画像診断支援ネットワークシステム（e-KOMA imaging）

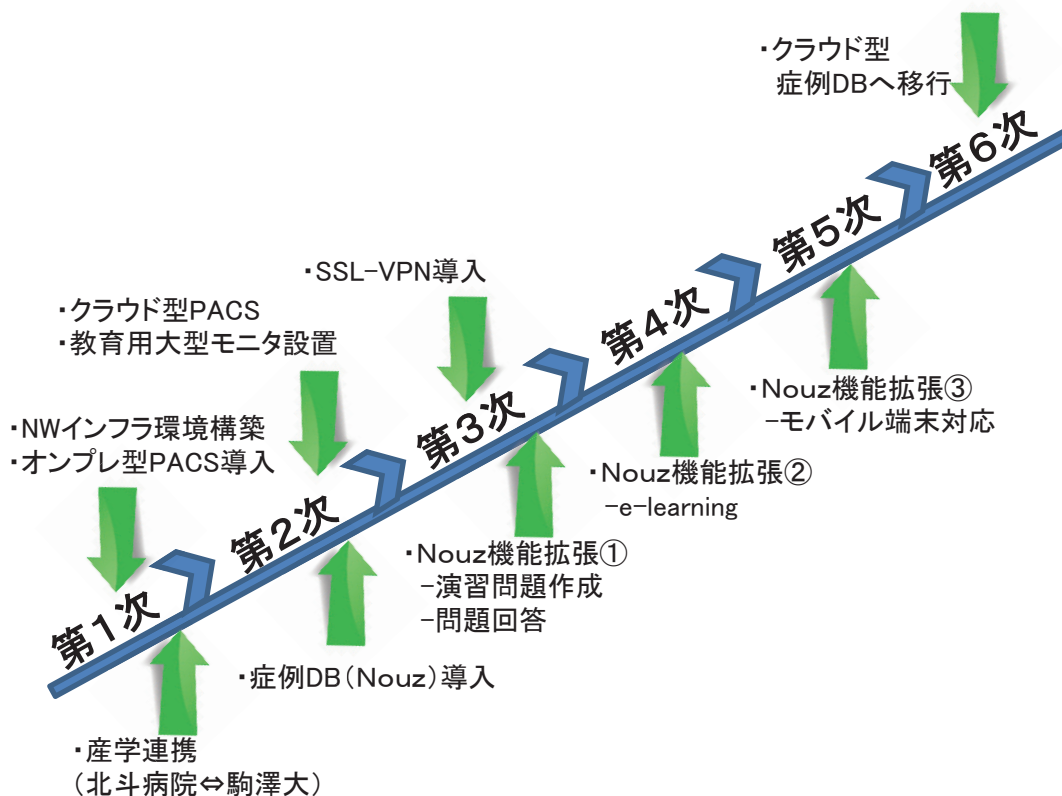
修士課程設置コースの教育として、株式会社アイティーネットの協力の下、e-learning機能を兼ね備えたNouzシステムを構築しました。また、本システム内に登録されている医用画像データは、北斗病院より提供いただいております。

現在、連携4大学間において、本システムが利用可能な環境となりました。そのため、医学物理・放射線技術分野の学生のみならず、看護学・腫瘍内科学・緩和医療・腫瘍外科学分野等の他職種への情報共有が可能となっています。



先進的なITを用いた、人材養成基盤の整備推進

推進スケジュール



ネットワークインフラ環境構築

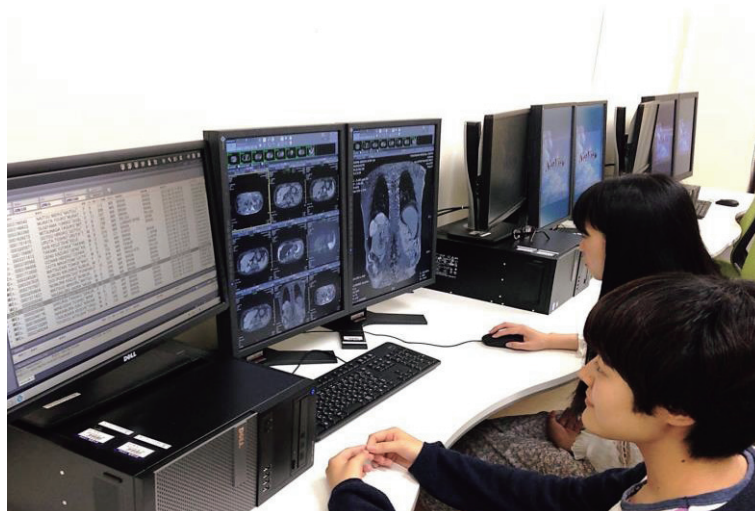
オンプレミス型PACS導入

2012年9月

人材養成基盤整備の第1次として、教育用ネットワークインフラの環境を整備。
 本学大学院医療健康科学研究科にオンプレミス型PACS(Picture Archiving and
 Communication Systems)を導入し、学生への演習環境を整備。
 これをITを用いた基礎的な人材養成体制の端緒とした。



専用サーバラック



PACSを用いた演習風景

産学連携

2012年12月

北斗病院様(北海道帯広市)と本学において、産学連携締結。
 学生が多くの実証例に触れ、そこからの症例データベース(DB)作成演習を目的とする。
 具体的には、匿名化された検査データの提供を、北斗病院様から本学が受ける体制を
 整備。
 これにより実践的な教育が可能となった。

社会医療法人 北斗 北斗病院 概要



所在地: 北海道帯広市稲田町基線7番地5
 設立年: 平成5年1月18日
 病床数: 267床
 診療科: 脳神経外科/脳神経内科/神経内科
 /頭頸部外科/心臓血管外科/循環器内科
 /呼吸器内科/消化器外科/消化器内科/
 乳腺外科/腫瘍外科/整形外科/リウマチ科
 /内科/外科/小児科/形成外科/耳鼻咽
 喉科/麻酔科/リハビリテーション科/放射
 線診断科/放射線治療科/病理診 断科/人
 工透析内科/腎臓内科/緩和ケア内科/歯
 科/歯科口腔外科/肛門外科

教育用大型モニタ設置

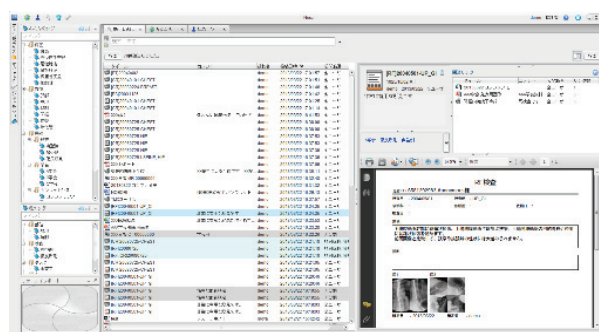
PACS参照端末と修士生端末は異なるため、端末間を行き来しながら演習を進めていた。大型モニタとPACSを連携させたことで、修士生は自身の端末の操作を行いながら、演習に臨める様になった。

クラウド型PACS/症例DB導入

演習にて作成したコンテンツを公開し、幅広く活用するため、PACSを第1次導入のオンプレ型からクラウド型のNoboriに移行。合わせて症例DB作成演習のため、Nouzを導入。NoboriとNouzの連携により、より効率的な演習が可能となった。



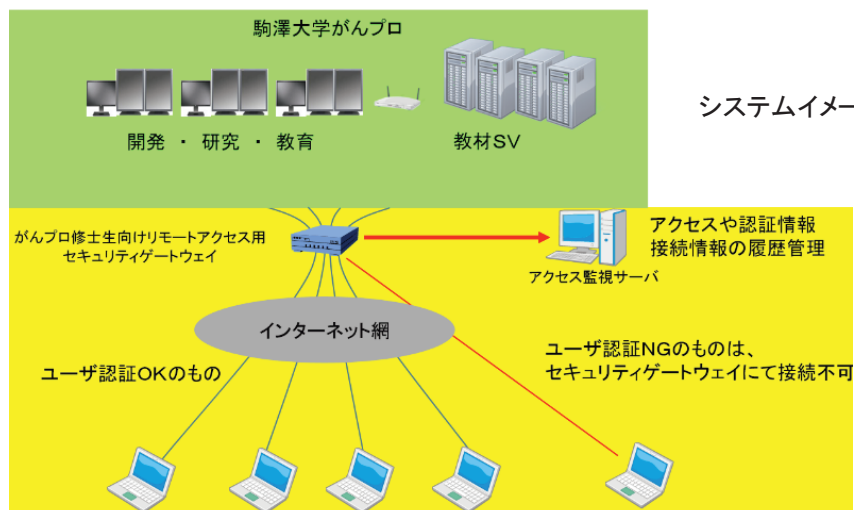
Nouz画面
イメージ



SSL-VPN導入

2015年2月

演習は本学の特定教室のみだったが、SSL-VPN導入により、インターネットが利用出来る環境であれば、修士生の自己学習や症例DB作成が可能となった。また本仕組みにより、他3大学における共同利用が可能となる仕組みを構築した。



システムイメージ図

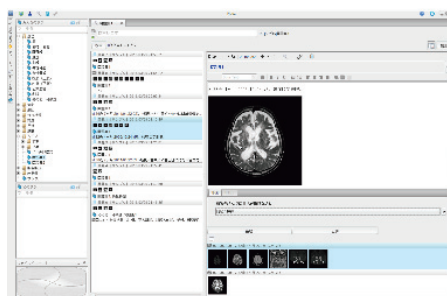
Nouz機能拡張①

-演習問題作成 -問題回答 2015年3月

症例DB作成にあたり、該当静止画やコメントが追加可能であったが、機能拡張により、別の静止画やテキストの組み合わせにより、よりリッチなドキュメント作成が可能となった。

リッチドキュメントから、診断、病名・疾病名、解剖学名、撮影方法などを問う演習問題の作成が可能となり、その回答も、選択式やフリーアンサーが可能となった。

Nouz画面イメージ



第4次

～2016年2月

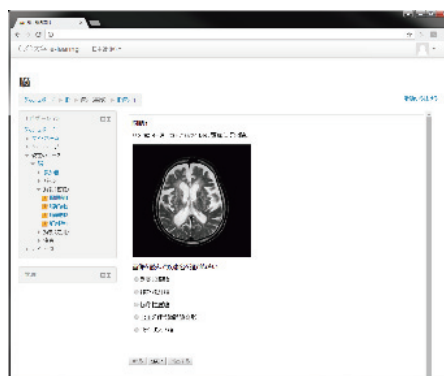
Nouz機能拡張②

-e-learning

2016年2月

機能拡張①に加えe-learning機能追加により、講座・科目単位といったコースに相当するカリキュラムモデル作成、ユーザ単位での実施状況や成績の管理や把握、それらのExcel形式でのエクスポートが可能となった。加えて、通常のe-learningシステムにはない、連続画像による画像参照も実現した。

Nouz画面イメージ



第5次

※予定

Nouz機能拡張③

-モバイル端末対応

Nouzは現在、Windows系OSのみの対応。これをAndroidやiOSに対応することで、スマートフォンやタブレットといったモバイル端末での利用を想定し改修予定。



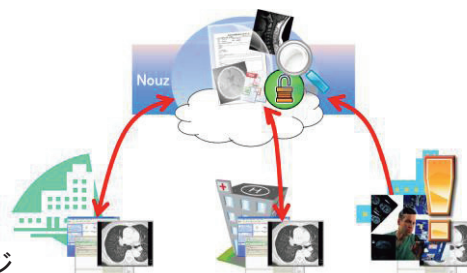
第6次

※予定

クラウド型症例DBへ移行

SSL-VPNによる限られた環境だけでなく、より多くの方が学習機会を得られる様、クラウド型のPubric Nouz(仮称)へ作成コンテンツの流用、移行を予定。

Pubric Nouz展開イメージ



6. セミナー等の開催

平成24年度

平成25年3月30日(土)
がん画像診断支援セミナー
がん画像診断支援
ー入門から基礎そして実践へー

開催場所：
 駒澤大学深沢キャンパス
 アカデミーホール

参加人数：41名

平成25年度

平成25年6月8日(土)
第1回がん画像診断支援
「入門・基礎コース1」

開催場所：
 駒澤大学駒沢キャンパス
 1号館301教場

参加人数：63名

平成25年7月13日(土)

第2回がん画像診断支援
「入門・基礎コース2」

開催場所：
駒澤大学駒沢キャンパス
1号館301教場

参加人数：40名

**遠隔画像診断支援インテンシブ生涯教育コース
2013**
- 遠隔画像診断支援に必要なABC - 

駒澤大学
文科省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
第2回 がん画像診断支援「入門・基礎コース2」

司会：駒澤大学大学院医療健康科学研究科 吉川宏起、嶋田守男、奥山康男

- ・がん画像の診断ポイント - 骨・軟部領域 - 13:00~14:00
***** ココだけでしか聞けない質問 OK *****
杏林大学保健学部 講師 本谷啓太 放射線科医師
- ・がん画像の診断ポイント - 腎・副腎領域 - 14:00~15:00
***** ココだけでしか聞けない質問 OK *****
東京都立墨東病院診療放射線科 部長 松岡 勇二郎 放射線科医師
- ***** 休憩 15:00~15:15 *****
- ・がん画像の診断ポイント - 脾臓領域 - 15:15~16:15
***** ココだけでしか聞けない質問 OK *****
東京大学医科学研究所放射線科 准教授 桐生 茂 放射線科医師
- ・がん画像の診断ポイント - 縦隔領域 - 16:15~17:15
***** ココだけでしか聞けない質問 OK *****
東邦大学医療センター大森病院 呼吸器外科 准教授 養 美穂 呼吸器外科医師

◇開催日時：2013年7月13日(土曜) 13:00 ~ 17:30
◇開催会場：駒澤大学 駒沢キャンパス1号館 301教場
◇受講料：無料(事前受付の必要はありません)

※本講演は学術団体等の生涯教育ポイントには関係いたしません(※関連学会への申請準備中)。
※本コースをトータル25時間以上受講した方はインテンシブコース修了書の発行を予定しています。

平成25年9月7日(土)

第3回がん画像診断支援
「入門・基礎コース3」

開催場所：
駒澤大学深沢キャンパス
アカデミーホール

参加人数：25名

**遠隔画像診断支援インテンシブ生涯教育コース
2013**
- 遠隔画像診断支援に必要なABC - 

駒澤大学
文科省がんプロフェッショナル養成プラン
第3回 がん画像診断支援「入門・基礎コース3」

司会：駒澤大学大学院医療健康科学研究科 吉川宏起、奥山康男

- ・がん画像の診断ポイント - 上・下咽頭領域 - 13:00~14:00
***** ココだけでしか聞けない質問 OK *****
帝京大学医学部附属病院放射線科 准教授 豊田 圭子 放射線科医師
- ・がん画像の診断ポイント - 男性骨盤領域 その2 - 14:00~15:00
***** ココだけでしか聞けない質問 OK *****
駒澤大学大学院医療健康科学研究科 教授 吉川 宏起 放射線科医師
- ***** 休憩 15:00~15:15 *****
- ・がん画像の診断ポイント - 女性骨盤領域 - 15:15~16:15
***** ココだけでしか聞けない質問 OK *****
東京大学医科学研究所放射線科 助教 古田 寿宏 放射線科医師
- ・がん画像の診断ポイント - 肝臓領域 - 16:15~17:15
***** ココだけでしか聞けない質問 OK *****
***** 肝臓癌の造影検査 *****
東邦大学医療センター大森病院放射線科 准教授 五味 達哉 放射線科医師

◇主催：駒澤大学
◇開催日時：2013年9月7日(土曜) 13:00 ~ 17:15
◇開催会場：駒澤大学 深沢キャンパス アカデミーホール
◇受講料：無料(事前受付の必要はありません)

※本講演は学術団体等の生涯教育ポイントには関係いたしません(※関連学会への申請準備中)。
※本コースをトータル25時間以上受講した方はインテンシブコース修了書の発行を予定しています。

平成25年10月26日(土)

第4回がん画像診断支援
「入門・基礎コース4」

開催場所：
駒澤大学駒沢キャンパス
1号館301教場

参加人数：43名

遠隔画像診断支援インテンシブ生涯教育コース
2013
— 遠隔画像診断支援に必要なABC —

駒澤大学
文科省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
第4回 がん画像診断支援「入門・基礎コース4」

今年度最後の学内開催。次回は12月15日 日本放射線技術学会関東・東京との合同開催です

司会：駒澤大学大学院医療健康科学研究科 吉川宏起、奥山康男

・小児がんの診療連携 — 画像診断と放射線治療 — 13:30~14:20
駒澤大学大学院医療健康科学研究科 准教授 奥山 康男 先生

・教えます！がんMRI — 撮り方と読み方 — 14:20~15:20
駒澤大学大学院医療健康科学研究科 教授 吉川 宏起 先生

***** 休 憩 15:20~15:30 *****

・救急シリーズ— 脳脊髄領域の救急救命画像診断 — 15:30~16:30
順天堂大学医学部附属順天堂医院放射線科 准教授 堀 正明 先生

・救急シリーズ— 腹部骨髄領域の救急救命画像診断 — 16:30~17:30
東京大学医学研究所附属病院 放射線科 講師 山田 晴耕 先生

◇主 催：駒澤大学
◇開催日時：2013年10月26日(土曜) 13:00 ~ 17:30
◇開催会場：駒澤大学 駒沢キャンパス1号館 301教場
◇受講料：無料(事前受付の必要はありません)

※本講演は学術団体等の生涯教育ポイントには関与いたしません。(※関連学会への申請準備中)。
※本コースをトータル25時間以上受講した方はインテンシブコース修了書の発行を予定しています。

平成25年12月15日(日)

遠隔画像診断支援セミナー
遠隔画像診断支援に必要なABC

開催場所：
一橋大学 一橋講堂

参加人数：133名

公益社団法人 日本放射線技術学会
関東・東京部会合同研究発表大会2013

駒澤大学 文科省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
遠隔画像診断支援セミナー 2013
— 遠隔画像診断支援に必要なABC —

司会：駒澤大学大学院医療健康科学研究科 吉川宏起、奥山康男

・救急画像診断支援 — 患者のケアに使える画像の見かた — 12:45~13:45 予定
日本医科大学付属病院救命救急科 救命救急医師 講師 宮内 雅人 先生

・IVRと画像診断支援 — 診療放射線技師と行うIVR — 13:45~14:45 予定
慶應大学医学部放射線診断 IVR医師 講師 中塚 誠之 先生

***** 休 憩 14:45~15:00 *****

・画像診断支援に必要な至適画像のABC — MRI 編 — 15:00~15:40 予定
日本医科大学付属病院放射線科 診療放射線技師 土橋 俊男 技師長

・画像診断支援に必要な至適画像のABC — CT 編 — 15:40~16:20 予定
順天堂大学医学部附属順天堂医院放射線科 診療放射線技師 木暮 陽介 副技師長

・遠隔画像診断支援に必要なためのICT技術 ABC 16:20~17:00 予定
テクマトリクス株式会社 医療システム事業部 依田 佳久 事業部長

◇主 催：駒澤大学
◇協 力：公益社団法人 日本放射線技術学会 関東部会・東京部会
◇開催日時：2013年12月15日(日曜) 12:45 ~ 17:00
◇開催会場：一橋講堂 *詳細は...http://jsrt-knt.umin.jp/knt_tokio_2013/index.html
◇聴 講 料：本講演のみ無料にて入場可(事前予約の必要はありません)
◇聴講要件：医療職種及び関係者(学生、社会人を問いません)

平成26年1月19日(日)

遠隔画像診断支援セミナー 画像診断支援と放射線治療の 基礎

開催場所：
神奈川県総合医療会館

参加人数：138名

平成25年度
神奈川県診療放射線技術講習会

駒澤大学 文科省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
遠隔画像診断支援セミナー 2014
画像診断支援と放射線治療の基礎

司会：駒澤大学大学院医療健康科学研究科 吉川宏起、奥山康男

- 文科省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プランとは」 09:30～10:00
駒澤大学大学院医療健康科学研究科 准教授 奥山康男 先生
- がん画像検査法と読影ポイント－MRI編－ 10:00～11:00
駒澤大学大学院医療健康科学研究科 教授 吉川宏起 先生
- がん画像検査法と読影ポイント－IVR編－ 11:00～12:00
杏林大学保健学部診療放射線技術学科 教授 黒木一典 先生

***** 休憩 12:00～13:00 *****

- 放射線治療の考え方と最新治療法 13:00～14:15
東京女子医科大学放射線腫瘍学講座 主任教授 三橋紀夫 先生
- 頭頸部がんに対する放射線治療－多様性の知識整理－ 14:15～15:30
帝京大学医学部附属眞津口病院放射線科科長 教授 多湖正夫 先生

◇主催：神奈川県衛生部
◇共催：神奈川県放射線技師会 駒澤大学
◇開催日時：2014年1月19日(日曜) 09:30～15:30
◇参加申込：予め県放射線技師会(KART)事務局へお問い合わせください。
kart501@soleil.ocn.ne.jp
◇開催会場：神奈川県総合医療会館
詳細は・・・<http://kart21.urmin.jp/kougyuuhop22.htm>

平成26年度

平成26年6月22日(日)

がんプロフェッショナル養成プランセミナー 乳癌の画像診断支援と放射線治療

開催場所：
山梨県立図書館 多目的ホール

参加人数：74名

JSRT関東部会 平成26年度第1回学術講演会
駒澤大学文科省がんプロフェッショナル養成プランセミナー
－乳癌の画像診断支援と放射線治療－

日時 平成26年6月22日(日) 13:30～16:40
場所 山梨県立図書館 多目的ホール
参加費 無料

平成26年度 関東部会学術テーマ『きほんのキボンの基本』－乳癌編－

■司会：駒澤大学大学院医療健康科学研究科 吉川宏起、奥山康男

- 乳癌検診における画像診断の役割 (13:30～14:30)
山梨大学医学部附属病院 第一外科 井上慎吾 先生
- 乳癌関連における放射線治療の新しい潮流 (14:30～15:30)
山梨大学医学部附属病院 放射線科 大西洋 先生

***** <10分休憩> *****

- PETによる乳癌画像診断(15:40～16:10)
駒澤大学大学院医療健康科学研究科 奥山康男 先生
- MRIによる乳癌画像診断(16:10～16:40)
駒澤大学大学院医療健康科学研究科 吉川宏起 先生

◇主催：駒澤大学
◇共催：公益社団法人日本放射線技術学会 関東部会
◇聴講料：本講演のみ無料にて入場可(事前予約の必要はありません)
◇聴講要件：医療職種及び関係者(学生、社会人を問いません)

TOP Tokyo Oncology Professional
遠隔大学：東京女子医科大学 杏林大学 帝京大学 駒澤大学

平成26年9月6日(土)

第5回がん画像診断支援 「入門・基礎コース5」

開催場所：
駒澤大学深沢キャンパス
アカデミーホール

参加人数：40名

**遠隔画像診断支援インテンシブ生涯教育コース
2014**
駒澤大学 文科省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

第5回 がん画像診断支援「入門・基礎コース5」

◇ テーマ：腰痛の画像診断 ◇

司会：駒澤大学大学院医療健康科学研究科 吉川 宏起、奥山 康男
聖マリアンナ医科大学 川崎市立多摩病院画像診断部 小泉 美都枝

・腰痛疾患に関する再生医療の展望	13:00～13:30
サイトリ・セラピューテックス(株) 再生医療臨床開発部ディレクター 岩崎 英樹 先生	
・主訴から考える腰痛疾患	13:30～14:20
都立墨東病院整形外科 医長 田中 祐治 先生	
・CT & MRの検査ポイントと注意点	14:20～14:50
CT：聖マリアンナ医科大学病院 画像センター 小川 泰良 先生	
MR：千葉県済生会習志野病院 放射線科 長谷川晋也 先生	
***** 休 憩 14:50～15:00 *****	
・意外と知らないストレス脳と腰痛の関係	15:00～15:30
駒澤大学大学院医療健康科学研究科 奥山 康男 先生	
・腰痛から考える疾患画像	15:30～16:20
都立墨東病院放射線科 部長 松岡 勇二郎 先生	
・内臓疾患から来る腰痛	16:20～17:10
聖マリアンナ医科大学放射線科 講師 宮川 国久 先生	

◇主 催：駒澤大学
◇共 催：フォーシーズンズ・フォーラム研究会
◇開催日時：2014年9月6日(土曜) 13:00～17:10
◇開催会場：駒澤大学深沢キャンパス アカデミーホール
◇受講料：無料(事前受付の必要はありません)

※本講演はフォーシーズンズ・フォーラム研究会との共催となるため下記の生涯教育ポイントが加算されます。
◇日本診療放射線技師会生涯教育カウント:4.5ポイント ◇日本救急放射線技師認定ポイント:2ポイント

平成26年11月29日(土)

第1回放射線治療 「入門・基礎コース1」

開催場所：
駒澤大学駒沢キャンパス
1号館402教場

参加人数：95名

医学物理士養成コース インテンシブセミナー 2014
駒澤大学 文科省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

第1回 放射線治療「入門・基礎コース1」

◇ テーマ：放射線治療の基礎、実際から研究まで ◇

司会：駒澤大学大学院医療健康科学研究科 吉川 宏起、佐藤 昌憲

・四次元放射線治療	09:00～10:00
京都大学医学部附属病院 放射線治療科 医学物理グループ 講師 医学物理士 中村 光宏	
・治療線量監査における線量評価のIAEAと日本の比較	10:00～11:30
放射線医学総合研究所重粒子医学センター 放射線治療品質管理室 主任研究員 医学物理士 水野 秀之	
***** 休 憩 11:30～13:00 *****	
・AAPM TG-51 Addendumに関連して	13:00～14:30
駒澤大学大学院 医療健康科学研究科 非常勤講師 保科 正夫	
・光子線治療の基礎、実際から研究まで	14:30～16:00
国立がん研究センター東病院 臨床開発センター 粒子線開発分野 医学物理士 橋 英伸	

◇主 催：駒澤大学
◇開催日時：2014年11月29日(土曜) 09:00～16:00
◇開催会場：駒澤大学駒沢キャンパス 1号館402教場
◇受講料：無料(事前受付の必要はありません)

平成27年1月18日(日)

遠隔画像診断支援セミナー
あらためてバリウム検査を見直そう
ーがんと消化管検査ー

開催場所：
神奈川県総合医療会館

参加人数：143名

平成26年度
神奈川県診療放射線技術講習会

駒澤大学 文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

遠隔画像診断支援セミナー 2015
あらためてバリウム検査を見直そう
ーがんと消化管検査ー

司会：駒澤大学大学院医療健康科学研究科 吉川宏起、奥山康男

- バリウム検査による胃疾患の良性・悪性判定 09:30~10:30
駒澤大学大学院医療健康科学研究科 教授 嶋田 守男 先生
- バリウム検査とCT及びMR colonography 10:30~11:30
駒澤大学大学院医療健康科学研究科 教授 吉川 宏起 先生
- 文科省ーがんプロフェッショナル養成基盤推進プランとはー 11:30~12:00
駒澤大学大学院医療健康科学研究科 准教授 奥山 康男 先生

***** 休憩 12:00~13:00 *****

- バリウム検査による胃がん検査の基礎と検診の現状 13:00~14:15
練馬区医師会医療健診センター 事務次長 埋橋 喜次 先生
(日本消化器画像診断情報研究会 会長)
- 診療放射線技師による消化管X線検査ー小腸・大腸ー 14:15~15:30
東京山手メディカルセンター診療放射線科 主任 田中 靖 先生
(日本消化器画像診断情報研究会 事務局)

◇主催：神奈川県衛生部
◇共催：神奈川県放射線技師会、駒澤大学
◇開催日時：2015年1月18日(日) 09:30 ~ 15:30
◇参加申込：予め県放射線技師会(KART)事務局へお問い合わせください。
kart501@soleil.ocn.ne.jp
◇開催会場：神奈川県総合医療会館
詳細は...<http://kart21.umin.jp/kousyuu/top22.htm>

平成27年3月28日(土)

放射線治療と画像診断セミナー
放射線治療と画像診断

開催場所：
駒澤大学駒沢キャンパス
1号館301教場

参加人数：74名

駒澤大学 文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

放射線治療と画像診断セミナー 2015
ー放射線治療と画像診断ー

司会：午前の部ー駒澤大学大学院医療健康科学研究科 佐藤 昌憲
午後の部ー // 奥山 康男、吉川 宏起

- 放射線治療計画装置の臨床導入に必要な知識 09:00~10:30
東京ベイ先端医療・幕張クリニック 医学物理士 遠山 尚紀 先生
- MU値の検証と不均質補正の状況 10:30~12:00
駒澤大学大学院医療健康科学研究科 非常勤講師 保科 正夫 先生

***** 休憩 12:00~13:00 *****

- 重粒子線治療の基礎と臨床〜I-ROCKの紹介を踏まえて〜 13:00~14:00
神奈川県立がんセンター医療技術部 放射線治療技術科 吉野 慎一 先生
- スポーツ医学の領域におけるMRIの進歩と応用 14:00~15:00
国立スポーツ科学センターメディカルセンター 画像検査部門 大西 貴弘 先生
- 脊椎領域の最近の進歩ー画像診断と診療ー 15:00~16:00
横浜市立脳卒中・神経脊椎センター副院長 脊椎脊髄疾患センター長 青田 洋一 先生

◇主催：駒澤大学
◇開催日時：2015年3月28日(土) 09:00 ~ 16:00
◇開催会場：駒澤大学 駒沢キャンパス 1号館301教場
◇受講料：無料(事前受付の必要はありません)

平成27年度

平成27年8月15日(土)～9月12日(土) ※毎週土曜日

第1回スキルアップ・インテンシブセミナー がんのCT・MR編 ～基礎から臨床まで～

開催場所 : 駒澤大学駒沢キャンパス1号館401教場・402教場

参加延べ人数 : <CT編>188名 <MR編>157名

駒澤大学 文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
遠隔画像診断支援インテンシブ生涯教育コース2015「第1回スキルアップ・インテンシブセミナー」
テーマ：がんのCT・MR編 ～基礎から臨床まで～

これから始められる方へ...
さらなる撮影・撮像法を勉強したい方へ...
読影能力を身につけたい方へ...

司会：CT編－駒澤大学大学院医療健康科学研究科教授 奥山 康男
MR編－駒澤大学大学院医療健康科学研究科教授 吉川 宏起

CT編 (I-401教場)	MR編 (I-402教場)
<p>8月15日(土)</p> <p>14:30～15:30 ー頭頸部ー 跡田 直利 診療放射線技師 (国研)国立がん研究センター中央病院</p> <p>15:30～16:30 ー胸 部ー 長島千恵子 診療放射線技師 (国研)国立がん研究センター中央病院</p>	<p>ーSE高速SE法ー 中村 理宜 診療放射線技師 (株)フィリップス エレクトロニクス ジャパン</p> <p>ーIR法ー 中 孝文 診療放射線技師 川崎幸病院放射線診断科</p>
<p>8月22日(土)</p> <p>14:30～15:30 ー腹部(肝胆脾)ー 長澤 宏文 診療放射線技師 (国研)国立がん研究センター中央病院</p> <p>15:30～16:30 ー骨盤部ー 児玉 清幸 診療放射線技師 (国研)国立がん研究センター中央病院</p>	<p>ーGRE法ー 梅原 一浩 診療放射線技師 GEヘルスケア・ジャパン(株)</p> <p>ー非造影MRAー 秦 博文 診療放射線技師 北里大学病院放射線部</p>
<p>8月29日(土)</p> <p>14:30～15:30 ー3D画像処理ー 鈴木 雅裕 診療放射線技師 (国研)国立がん研究センター中央病院</p> <p>15:30～16:30 ーCTC検査ー 池野 直哉 診療放射線技師 (国研)国立がん研究センター中央病院</p>	<p>ー脂肪抑制ー 五十嵐 大郎 診療放射線技師 けいゆう病院放射線科</p> <p>ーEPIー 堀 大樹 診療放射線技師 新百合ヶ丘総合病院放射線部</p> <p>16:30～18:00 *フォーシーズンズ・フォーラム開催</p>
<p>9月5日(土)</p> <p>14:30～15:30 ー検診ー 北川まゆみ 診療放射線技師 (国研)国立がん研究センター中央病院</p> <p>15:30～16:30 ー四肢・その他ー 田北 淳 診療放射線技師 (国研)国立がん研究センター中央病院</p> <p>16:30～17:30</p> <p>17:30～18:30</p> <p>MR編のみ開催</p>	<p>ー造影MRAー 山下 素幸 診療放射線技師 東京通信病院放射線科</p> <p>ー臨床(肝胆脾)ー 松田 出 放射線科医師 関東労災病院放射線診断科</p> <p>ー臨床(腎臓)ー 吉川宏起 放射線科医師 駒澤大学大学院医療健康科学研究科</p> <p>ー臨床(脳)ー 大久保敏之 放射線科医師 帝京大学ちば総合医療センター 放射線科 教授</p>
<p>9月12日(土)</p> <p>14:30～15:30 ー臨床(読影I)ー 渡辺 裕一 放射線科医師 (国研)国立がん研究センター中央病院</p> <p>15:30～16:30 ー臨床(読影II)ー 渡辺 裕一 放射線科医師 (国研)国立がん研究センター中央病院</p>	<p>CT編のみ開催</p>

※CTまたはMR...全ての科目を受講した方には、インテンシブセミナー受講修了証を授与します。
※フォーシーズンズ・フォーラム研究会の参加者には生涯教育ポイントが加算される予定です。

◇主 催：駒澤大学
◇開催日：2015年8月15日・22日・29日、9月5日・12日 <毎週土曜日>
◇会 場：駒澤大学 駒沢キャンパス I号館401・402 教場
◇受講料：無料(事前予約は必要ありません)

TOP Tokyo Oncology Professional
駒澤大学 東京女子医科大学 香林大学 聖隷大学 駒澤大学

平成27年11月15日(日)

遠隔画像診断支援セミナー
がんの放射線治療と最新画像
診断の読影ポイント

開催場所：
神奈川県総合医療会館

参加人数：80名

平成27年度
神奈川県診療放射線技術講習会

駒澤大学文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
遠隔画像診断支援セミナー 2015
がんの放射線治療と最新画像診断の読影ポイント

司会：駒澤大学大学院医療健康科学研究科 教授 奥山 康男

09:30 放射線治療の最新技術 I
— 知っておきたい重粒子線治療の基礎と最新技術—
神奈川県立がんセンター医療技術部放射線治療技術科 吉野 慎一

10:30 放射線治療の最新技術 II
— フラットニングフィルタフリー(FFF)リニアックのビーム特性と今後の展望—
がん研有明病院 放射線治療部 技師長 佐藤 智春

12:00~13:00 *** 昼 休 憩 ***

13:00 がんの最新画像診断の読影ポイント I
— MRI: in phase と opposed phase の理解と活用—
駒澤大学大学院医療健康科学研究科 教授 吉川 宏起

14:15 がんの最新画像診断の読影ポイント II
— 腹部臓器のがんのCTとMRI—
東京大学医科学研究所附属病院放射線科 准教授 桐生 茂

15:30 終了

◇主 催：神奈川県衛生部
◇共 催：公益社団法人 神奈川県放射線技師会、駒澤大学
◇開催日時：2015年11月15日(日曜) 09:30 ~ 15:30
◇参加申込：参加費は無料、事前予約は不要です。
◇開催会場：神奈川県総合医療会館
詳細は…<http://kart21.uimin.jp/kousyuu/top22.htm>

TOP Tokyo Oncology Professional
駒澤大学 東京女子医科大学 杏林大学 帝京大学 駒澤大学

平成27年12月13日(日)

遠隔画像診断支援セミナー
がんの画像読影支援
—放射線技師が知っておくべきポ
イントとピットフォール—

開催場所：
メトロポリタン長野2階 “梓”

参加人数：35名

JSRT 第62回関東支部研究発表大会
駒澤大学文部科学省がんプロフェッショナル養成プランセミナー
= 遠隔画像診断セミナー 2015 =

がんの画像読影支援
～放射線技師が知っておくべきポイントとピットフォール～

日 時 平成27年12月13日(日) 09:00 ~ 12:00
場 所 メトロポリタン長野 2階 “梓”
参加費 無料

■司会：駒澤大学大学院医療健康科学研究科 吉川宏起、奥山康男

➢ 胸部CT検査の画像読影とピットフォール (09:00~10:00)
JA長野厚生連小諸厚生総合病院 放射線科部長 丸山 雄一郎 先生

➢ 小児のがん画像読影とピットフォール (10:00~11:00)
駒澤大学大学院医療健康科学研究科 教授 奥山 康男 先生

➢ MRIのがん画像読影とピットフォール (11:00~12:00)
駒澤大学大学院医療健康科学研究科 教授 吉川 宏起 先生

◇主 催：駒澤大学
◇共 催：公益社団法人 日本放射線技術学会 関東支部
◇聴講料：本講演のみ無料にて入場可 (事前予約は必要ありません)
◇聴講要件：医療職種及び関係者 (学生、社会人を問いません)

TOP Tokyo Oncology Professional
駒澤大学 東京女子医科大学 杏林大学 帝京大学 駒澤大学

平成28年2月27日(土)

がんプロセミナー 放射線治療の計測を語ろう

開催場所：
駒澤大学深沢キャンパス
アカデミーホール

参加人数：70名



がんプロフェッショナル養成基盤推進プランセミナー

放射線治療の計測を語ろう

講演1 14:00 ~ 15:30

FFFビームのコミッションングと臨床応用

青山 裕一 先生
神戸大学医学部附属病院 医療技術部放射線部門
診療放射線副技師長

講演2 15:30 ~ 16:30

ポリマーゲル線量計の臨床応用

小野 薫 先生
広島平和クリニック
高精度がん放射線治療センター診療支援部長

司会 保科 正夫

駒澤大学大学院医療健康科学研究科教授

日時 2016年2月27日(土) 14時~16時半
開場 13時半

場所 駒澤大学深沢キャンパス
120周年アカデミーホール
東急田園都市線「駒沢大学」駅下車
「駒沢公園」出口から徒歩約15分



- ◆ 放射線治療技術者を対象といたします
- ◆ 参加費無料・事前申し込みは不要です

文部科学省事業 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

TOP Tokyo Oncology Professional

東京女子医科大学 杏林大学 帝京大学 駒澤大学

平成28年度

平成28年5月22日(日)

遠隔画像診断セミナー がんの画像読影支援 ー乳腺画像検査の進歩と検査の 棲み分けー

開催場所：
タワーホール船堀5階

参加人数：60名

JSRT 第70回東京支部春期学術大会

駒澤大学文部科学省がんプロフェッショナル養成プランセミナー
～遠隔画像診断セミナー2016～

がんの画像読影支援

～乳腺画像検査の進歩と検査の棲み分け～

日時 平成28年5月22日(日) 14:30 ~ 17:40

場所 タワーホール船堀5階 <東京都江戸川区船堀>

参加費 無料

■司会：駒澤大学大学院医療健康科学研究科 奥山康男、吉川宏起

- ◇ がんプロとは？
駒澤大学大学院医療健康科学研究科 教授 奥山 康男 14:30~14:40
- 乳腺3D-mammography
富士フィルム株式会社 R&D統括本部 14:40~15:10
メディカルシステム開発センター 統括マネージャー 千代 知成
- 乳腺3D-US
東芝メディカルシステムズ株式会社 営業本部 15:10~15:40
超音波営業部アプリケーション担当 グループ長 堀江 康徳
- 乳腺3D-MRI
シーメンスヘルスケア株式会社ダイアグノスティック 15:40~16:10
イメージング事業本部DIリサーチ&コラボレーション部 川口 浩和
- 乳腺PEM
セティール株式会社 医療・量子部 医療機器課 課長代理 片山 章央 16:10~16:40
- ☆ 乳腺画像診断と検査の棲み分け
聖マリアンナ医科大学病院放射線科講師 医長 印牧 義英 16:40~17:40

◇主催：駒澤大学

◇協力：公益社団法人 日本放射線技術学会 東京支部

◇聴講料：本講演のみ無料にて入場可（事前予約の必要はございません）

◇聴講要件：医療職種及び関係者（学生・社会人などは問いません）

< *敬称略 >

TOP Tokyo Oncology Professional

連携大学：東京女子医科大学 杏林大学 帝京大学 駒澤大学



平成28年8月13日(土)～8月27日(土) ※毎週土曜日

第2回スキルアップ・インテンシブセミナー I MRIーそこが知りたい基礎のキソ

開催場所 : 駒澤大学駒沢キャンパス1号館404教場

参加延べ人数 : 86名

駒澤大学 文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
遠隔画像診断支援インテンシブコース2016「第2回スキルアップ・インテンシブセミナー I」
テーマ: 「MRIーそこが知りたい基礎のキソ」
◆これから始められる方へ!
◆モヤッとした画像をあらためて勉強したい方へ!
司会: 総編一駒澤大学大学院医療健康科学研究科 教授 吉川 宏起

■8月13日(土)
14:30～16:00 -脳・腎臓- 堀 大樹 診療放射線技師 新百合ヶ丘総合病院
16:10～17:40 -骨・関節- 外村 彰啓 診療放射線技師 聖マリアンナ医科大学病院

■8月20日(土) *フォーシーズンズ・フォーラム 共同開催プログラム
12:50～13:50 -肝・胆・膵の画像解剖- 吉川 宏起 放射線科医師 駒澤大学医療健康科学部
13:50～14:50 -企業による情報提供- 未定
15:00～16:30 -肝・胆・膵- 天野 淳 診療放射線技師 関東中央病院
16:40～18:10 -男性・女性骨盤- 五十嵐 太郎 診療放射線技師 けいゆう病院

■8月27日(土)
14:30～16:00 -心・大血管- 水上 慎也 診療放射線技師 北里大学医療衛生学部
16:10～17:40 -造影検査- 吉川 宏起 放射線科医師 駒澤大学医療健康科学部

※敬称略
※CTまたはMR…総ての科目を受講した方には、インテンシブセミナー受講修了証を授与します。
※フォーシーズンズ・フォーラム研究会の参加者には生涯教育ポイントが加算される予定です。

乞うご期待!
「第2回スキルアップ・インテンシブセミナー II」予告
テーマ: 「X線CTー本当に知りたい基礎のキソ<低線量撮影技術>」
*メーカー技術者が逐次近視画像再構成などを分かりやすく解説
・2016年 9月3日(土)、10日(土)、17日(土)……14:00～17:00
・会場は下記と同一場所です。

◇主催: 駒澤大学
◇開催日: 2016年8月13日、20日、27日 <毎週土曜日>
◇会場: 駒澤大学 駒沢キャンパス I号館404教場
◇受講料: 無料 (事前予約は必要ありません)

TOP Tokyo Oncology Professional
連携大学: 東京女子医科大学 杏林大学 帝京大学 駒澤大学

平成28年9月3日(土)～9月17日(土) ※毎週土曜日

第2回スキルアップ・インテンシブセミナー II CTー本当に知りたい基礎のキソ <低線量撮影技術>

開催場所 : 駒澤大学駒沢キャンパス1号館404教場

参加延べ人数 : 44名

駒澤大学 文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
遠隔画像診断支援インテンシブコース2016「第2回スキルアップ・インテンシブセミナー II」
テーマ: 『CTー本当に知りたい基礎のキソ<低線量撮影技術>』
◆CTを基礎から再学習されたい方へ
◆CTを極めたい方へ…<東芝CTユーザー必見>
司会: CT編一駒澤大学大学院医療健康科学研究科 教授 奥山 康男

■9月3日(土) - CTの基礎及び画像再構成法の基礎 -
14:00～15:30 東芝メディカルシステムズ株式会社 首都圏支社
15:40～17:10 アプリケーションスペシャリスト 張 つぼみ

■9月10日(土) - 被ばく低減技術の紹介(ハード&ソフト) -
14:00～15:30 東芝メディカルシステムズ株式会社 関東支社
15:40～17:10 アプリケーションスペシャリスト 佐川 美奈

■9月17日(土) - 画質向上技術と最新技術 -
14:00～15:30 東芝メディカルシステムズ株式会社 首都圏支社
15:40～17:10 営業推進部 CT担当 清水 真太郎

※敬称略

◇主催: 駒澤大学
◇開催日: 2016年9月3日、10日、17日 <毎週土曜日>
◇会場: 駒澤大学 駒沢キャンパス I号館404教場
◇受講料: 無料 (事前予約は必要ありません)

TOP Tokyo Oncology Professional
連携大学: 東京女子医科大学 杏林大学 帝京大学 駒澤大学

平成28年11月13日(日)

遠隔画像診断支援セミナー
ー乳房(腺)画像検査装置の最新技術と読影ポイントー

開催場所：
神奈川県総合医療会館

参加人数：81名

平成28年度 神奈川県診療放射線技術講習会
駒澤大学 文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プランセミナー
～遠隔画像診断支援セミナー 2016～

マンモグラフィ認定者必見!! ...ここまで来た...
～乳房(腺)画像検査装置の最新技術と読影ポイント～

日時 平成28年11月13日(日) 09:30～15:30
場所 神奈川県総合医療会館<最寄駅:JR関内駅>
参加費 無料

■ 司会：駒澤大学大学院医療健康科学研究科 教授 奥山 康男・吉川 宏起

◇ 乳房(腺) MRI装置の最新技術 09:30～10:30
駒澤大学がんプロフェッショナル MRアドバイザー 川口 浩和

◇ 乳房(腺) 超音波診断装置の最新技術 10:30～11:30
駒澤大学がんプロフェッショナル USアドバイザー 堀江 康徳

◇ 乳房(腺) X線造影装置の最新技術 11:30～12:30
駒澤大学がんプロフェッショナル MMGアドバイザー 酒匂 俊平

*** 昼休憩 *** 12:30～13:30

◇ 乳房(腺) 画像診断の読影ポイント 13:30～15:00
亀田総合病院附属幕張クリニック 放射線科医師 片山 信仁

< * 敬称略 >

◇ 主催：神奈川県衛生部
◇ 共催：公益社団法人 神奈川県放射線技術協会
◇ 聴講料：参加費は無料にて入場可(事前予約の必要はございません)
◇ 聴講要件：医療職種及び関係者(学生・社会人などは問いません)

TOP Tokyo Oncology Professional
連携大学：東京女子医科大学 杏林大学 帝京大学 駒澤大学

平成28年12月23日(金)

がんプロセミナー
放射線治療とモンテカルロシミュレーション

開催場所：
駒澤大学駒沢キャンパス
1号館301教場

参加人数：186名

文部科学省事業 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
駒澤大学 TOP Tokyo Oncology Professional
東京女子医科大学 杏林大学 帝京大学 駒澤大学

がんプロフェッショナル養成基盤推進プランセミナー
放射線治療と
モンテカルロシミュレーション
※会場は目下建設中

開会の挨拶 吉川 宏起 駒澤大学大学院医療健康科学研究科 教授
基調講演：モンテカルロシミュレーションとドシメトリ
荒木 不次男 熊本大学大学院医用画像学分野教授

講演1：放射線治療計画の臨床：線量が欲しい領域はどこか
有路 貴樹 国立がん研究センター東病院放射線治療科

講演2 放射線治療計画の検証：検出器の特性を克服しているか
遠山 尚紀 東京ベイ先端医療・幕張クリニック医療技術部医学物理室

講演3：放射線治療とモンテカルロ(MC)の関わり：MCで迫ろう
藤田 幸男 東海大学 医学部 放射線治療科学

司会 保科 正夫 駒澤大学大学院医療健康科学研究科

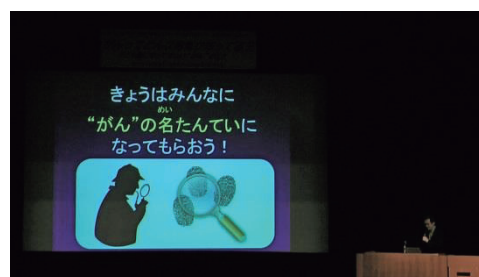
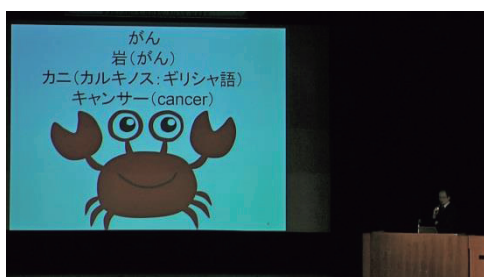
平成28年12月23日(金、祝日) 13時～(開場12時半)
駒澤大学1号館301教場 駒沢キャンパス <https://www.komazawa-u.ac.jp>
参加費：無料 興味をもつ方の参加をお待ちします

7. 子どもに対するがん教育

①連携4大学合同市民公開シンポジウム

平成27年12月20日(土)、連携4大学と合同で、小中学生を対象とした市民公開シンポジウム「がんってどんな病気か知ってる?」を開催いたしました。

子どもたちにがんの正しい知識を伝えるとともに、予防法や検診の大切さを伝えました。



②「がん教育」出張授業

「早い時期からがん教育に触れ」、「将来望ましい生活習慣を身につけ」、「がん検診に対する意識を高め」、「身近な大切な人に検診を積極的に促してもらおう」ことを目的として、小学生から高校生までを対象とした出張授業を現在までに3回行いました。



2016年12月7日(水)
埼玉県立大宮南高校での
授業風景

- ・2015年12月9日(水) 杉並区立三谷小学校
- ・2016年12月7日(水) 埼玉県立大宮南高校
- ・2017年1月14日(土) 杉並区立高井戸中学校

8. 連携大学合同事業

① 合同カンファレンス

平成27年度

平成27年11月14日(土)
公開カンファレンス
— 原発不明がんの診断と治療と
看護 —

開催場所：
東京女子医科大学
第1病棟3階 第4会議室

参加人数：34名

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「都市型がん医療を担う人材の実践的教育」
公開カンファレンス
～ 原発不明がんの診断と治療と看護～
4大学大学院生の自主運営によるカンファレンス

日時 平成27年11月14日(土) 14:00～16:00
会場 東京女子医科大学 第1病棟3階 第4会議室

コメンテーター 高野 利実 (虎の門病院臨床腫瘍科 部長)
【各部終了後、コメントをいただきます】

開会の挨拶 古瀬 純司 (杏林大学腫瘍内科学 教授) 14:00～

第1部：診断・治療・看護の観点からみた症例提示 14:05～

症例1：診断的観点からみた原発不明がんの1例報告 演者：村田 千穂 (女子医大)
夏目まいか (帝京大学)
症例2：治療的観点からみた原発不明がんの1例報告 演者：酒井 貴寛 (駒澤大学)
成毛 大輔 (杏林大学)
症例3：看護的観点からみた原発不明がんの1例報告 演者：成毛 大輔 (杏林大学)
樋岡由弥華 (女子医大)

第2部：診断・治療・看護に関する現状と課題を浮き彫りにするための教育講演 14:40～

講演1：原発不明がんの「診断」の現状と課題 演者：柴田 純 (駒澤大学)
齊藤 直樹 (帝京大学)
講演2：原発不明がんの「治療と看護」の現状と課題 演者：本多 正幸 (駒澤大学)
森 竜久 (帝京大学)

第3部：診断・治療・看護に関する課題を焦点にしたパネルディスカッション 15:15～

パネリスト：守屋 駿佑 (駒澤大学) 司会：成毛 大輔 (杏林大学)
深澤 陽子 (帝京大学) 夏目まいか (帝京大学)
木原 円子 (女子医大)

総括 本カンファレンスに関する総評 15:45～

閉会の挨拶 江口 研二 (帝京大学難治疾患支援学 特任教授) 15:55～

申込不要・参加費無料
医師・薬剤師・看護師・放射線技師・大学院生・学生等、
職種を問わず、どなたでもご参加いただけます
〈お問合せ先〉
東京女子医科大学がんプロ事務局
東京都新宿区河田町8-1
TEL：03-3357-4889
E-mail：top-g4_bm@twmu.ac.jp



東京女子医科大学 杏林大学 帝京大学 駒澤大学

平成28年度

平成28年7月16日(土)
都市型がん医療の課題と
考えさせられた症例

開催場所：
東京女子医科大学
外来センター5F大会議室

参加人数：54名

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
2016年度 第1回 4大学合同カンファレンス
テーマ：都市型がん医療の課題と考えさせられた症例

内容 大学院生自身が経験して対応が難しかった症例をプレゼンテーションし、先生方にアドバイスをいただき皆で検討する


日時 2016年7月16日(土) 13時30分～16時
会場 東京女子医科大学 外来センター5F大会議室

コメンテーター ◆ 松浦成昭：大阪大学大学院医学系研究科 特任教授
大阪府立成人病センター 総長
全国がんプロ協議会 会長
◆ 片山志郎：日本医科大学付属病院 薬剤部 薬剤部長

プレゼンテーター ◆ 岡野尚弘：杏林大学 医学研究科
◆ 深澤陽子：帝京大学 医学研究科
◆ 村田千穂：東京女子医科大学 看護学研究科

申し込み不要 皆さまご自由にご参加ください。お待ちしております。

Mail top-g4_bm@twmu.ac.jp
http://top-g4.jp/
東京女子医科大学 がんプロ事務局



東京女子医科大学 帝京大学 杏林大学 駒澤大学

平成28年12月3日(土)
高齢者のがん診療の現状と課題

開催場所：
杏林大学 井の頭キャンパス
C棟5階 会議室

参加人数：55名



FACULTY
OF
MEDICINE

13:30 開催挨拶
13:40 第一部
14:00 第二部
15:30 総評
15:50 閉会挨拶

KYORIN
UNIVERSITY

お問合せ
杏林大学がんプロ事務局 (三馬市新川16-20-2)
TEL:0422-47-5511 E-mail: gaipro@kkyorin-u.ac.jp
Web: http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/feature/cancer_pro

アクセス：杏林大学Webサイトの交通アクセスの井の頭キャンパスをご覧ください。

TOP Tokyo Oncology Professional
都市型がん医療を担う人材の実践的養成
東京女子医科大学 杏林大学 昭和大学 昭和医大
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン：文部科学省

2016年第2回 合同カンファレンス —高齢者のがん診療の現状と課題—

【日時】2016年12月3日(土) 13:30～16:30 (13:00受付開始)

【場所】杏林大学 井の頭キャンパス C棟5階 会議室

入場無料・申込不要

跡見裕 杏林大学長

基調講演

長島文夫 准教授 (杏林大学医学部腫瘍内科学)

「高齢者がん診療の課題、厚労省の見解、臨床研究について」

がんプロ学生による症例検討

河野佐和 (東京女子医科大学 放射線腫瘍学)

松原貴子 (帝京大学 医学研究科)

河合桐男 (杏林大学 医学研究科)

宮川 真 (駒澤大学 医療健康科学研究科)

夏目まいか (帝京大学 医学研究科)

司会 深澤陽子 (帝京大学 医学研究科)

岡野尚弘 (杏林大学 医学研究科)

外部コメンテーター

佐々木常雄先生

(都立駒込病院 名誉院長)

山内照夫先生

(聖路加国際大学 聖路加国際病院 オンコロジーセンター長・腫瘍内科部長)

渡邊卓 杏林大学医学部長

進行：古瀬純司 教授 (杏林大学医学部腫瘍内科学)

杏林大学

② 合同シンポジウム

平成25年度

平成25年3月29日(土)
東京都における
都市型がん診療を考える

開催場所：
杏林大学 三鷹キャンパス
大学院講堂

参加人数：106名

平成25年度
連携4大学合同市民公開シンポジウム
がんプロフェッショナル養成推進プラン—都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育—

東京都における都市型がん診療を考える

日 時 2014年3月29日(土)13:30~16:30 開 場 13:00

東京都では、がん患者の生活環境や要望が日々大きく変化し、急激に高齢化が進む。急激化する在宅医療や地域がん医療連携の重要性が認識されてきています。今回のテーマが東京都における都市型がん診療を考えるです。最新のがん治療戦略と都市型がん診療の医療連携についてとまじり学びましょう。

会 場 杏林大学三鷹キャンパス大学院講堂 (2病棟4階)

プログラム

13:30 オープニングリマーク
舘見 祐 杏林大学

第1部 難治がんの治療戦略
司会 宮腰 義明 杏林大学附属病院がんセンター
13:43~ 消化器がん治療の進歩
正木 忠彦 杏林大学附属病院消化器科
14:04~ 肺がん：抗がん剤治療の歩み
橋山 琢磨 杏林大学附属病院呼吸器科
14:23~ 診断時からの緩和ケア
—がんになっても暮らしに活かしましょう—
青賀 悦子 杏林大学附属病院緩和ケア科
14:43~ 質疑応答
14:53~ 休憩 (15分間)

第2部 都市型がん診療の課題と取り組み
司会 江口 研二 杏林大学附属病院がんセンター
15:15~ わが国のがん政策と地域包括ケア
林 和彦 東京女子医科大学がん研 緩和ケア科
がん予防センターがん相談支援センター
15:25~ 画像診断による地域連携
古川 宏起 東京女子医科大学がん研 放射線科
15:45~ 東京都のがん診療の現状と課題
佐々木 尚雄 東京女子医科大学がん研
16:15~ 質疑応答
16:30 クロージングリマーク
渡邊 卓 杏林大学附属病院がんセンター

入場 無料
申込 不要

アクセス
お問合せ
杏林大学がんプロ事務局
〒181-8611 東京都板橋区川崎6-20-2
TEL:0422-47-5511(内線3211)
Email:gango@akajyo.ac.jp

平成26年度

平成26年12月20日(土)
がんを知り、がんと生きる
～大都市圏における
都市型がん診療とは～

開催場所：
帝京大学板橋キャンパス
臨床大講堂

参加人数：163名

がんを知り、がんと生きる
～大都市圏における都市型がん診療とは～

2014
12.20(土) 参加 無料
13:30~16:30 (開場 13:00)
帝京大学板橋キャンパス
臨床大講堂 定員400名

〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1 本部棟4階

◆オープニングリマーク 沖永 佳史 帝京大学医学部・学長
◆有賀 悦子 帝京大学附属病院がんセンター
「肺がん」 鹿 龍彦 帝京大学附属病院 腫瘍内科 副院長
「消化器がん(肝胆膵)」
古瀬 純司 帝京大学附属病院内科学 教授/がんコーディネーター
「がん診療の地域連携」
林 和彦 東京女子医科大学がん研 化学療法・緩和ケア科 教授
がんコーディネーター

「明るくさわやかに生きる
～アグネスが見つめた生命～」
アグネス・チャン 日本財団 公益財団

パネルディスカッション
～がん診療の上手なうけ方～
司会 江口 研二 帝京大学附属病院がんセンター 教授/がんコーディネーター
◆帝京大学 西龍彦 ◆杏林大学 古瀬純司
◆東京女子医科大学 林和彦 ◆帝京大学 古川宏起
◆がんコーディネーター

◆Q&Aコーナー
◆クロージングリマーク 遠川 一 帝京大学附属病院
◆特別発表 佐野 壯二 帝京大学附属病院 消化器科 教授
帝京大学附属病院腫瘍科 教授
帝京大学附属病院腫瘍科 医師
帝京大学附属病院腫瘍科 医師

◆お問合せ 帝京大学がんプロ事務局
〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1 帝京大学板橋キャンパス事務部教務課 がんプロ担当
TEL 03-3964-1210 内線8980 FAX 03-3964-8396 E-mail:ganpro@med.teikyo-u.ac.jp
URL: http://www.teikyo-ganpro.jp/

主催 帝京大学 杏林大学 がんプロ養成推進プラン
「都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育」
(東京女子医科大学・杏林大学・帝京大学・板橋区)

主催 帝京大学医学部附属病院 帝京がんセンター、帝京大学医学部附属病院 医療連携・相談部 医療連携室
後援 板橋区医師会(申請中)

平成27年度

平成27年12月20日(日)
 がんってどんな病気か知ってる?
 子ども達に知ってほしい“がん”のこと

開催場所：
 駒澤大学 記念講堂

参加人数：67名

がんってどんな病気か知ってる?
 子ども達に知ってほしい“がん”のこと

【日時】2015年12月20日(日)
 14:00~16:00 (開場13:30) **参加無料 申込不要**

【場所】駒澤大学 記念講堂
 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1 駒沢キャンパス

【対象】小学校高学年・中学生・ご家族のみさま 他一般の方

司会 江口 研二(東京大学医学部腫瘍治療支援学講座 特任教授)
 田中 美穂子(東京女子医科大学看護学部精神看護学 教授)

オープニングリマーク 廣瀬 良弘(駒澤大学 学長)

●「がんってなに?」 渡邊 清高(東京大学医学部内科学講座(腫瘍内科) 准教授)

●「がんの実態を知る」 14:15~

- がんを見つける画像機器 奥山 康男(駒澤大学医療健康科学研究科 教授)
- 画像で見つける 吉川 宏起(駒澤大学医療健康科学研究科 教授)
- 手で治す 佐野 謙二(東京大学医学部外科学講座 教授)
- 放射線で治す 石瀬 純司(杏林大学腫瘍内科 教授)
- 痛みや不安を和らげる 藤澤 久美子(東京女子医科大学放射線腫瘍学講座 教授)
- 有賀 悦子(東京大学医学部腫瘍学講座 教授)

●「がんの予防策を知る」 15:15~

- タバコのおそろしさ、肥満のこわさ、運動の大切さ、がんと感染症 飯岡 由紀子(東京女子医科大学看護学部成人看護学 教授)

●「がん検診の大切さを知る」 15:25~

- がんを予防するウケゲン 林 和彦(東京女子医科大学化学療法・緩和ケア科 教授)
- お父さん、お母さんに教えてあげよう がん検診の大切さ 中島 美英子(杏林大学保健学看護学講座 教授)

クローージングリマーク 桑田 建彰(駒澤大学 前学長)

【主 催】
駒澤大学
 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
 「都市型がん医療連携推進プラン」
 東京女子医科大学・杏林大学・帝京大学・駒澤大学

【後 援】世田谷区教育委員会 杉区教育委員会
 【学術協力】公益財団法人 がん研究会有明病院
 【病院】社会医療法人北斗 北斗病院
 【お問合せ】駒澤大学 教育総務研究課係
 TEL:03-3418-9125
 E-mail:ken-suishin@koizumi-u.ac.jp
 【アクセス】東京都世田谷区駒沢(駒沢大学)駅下車
 徒歩約10分(駒沢公園口出口)

平成28年度

平成29年1月14日(土)
 4大学連携合同成果報告会
 4大学連携合同市民シンポジウム

開催場所：
 東京女子医科大学
 弥生記念講堂

参加人数：71名

文部科学省補助事業「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」

4大学連携合同成果報告会
4大学連携合同市民シンポジウム

第1部 4大学連携合同成果報告会 10:00~12:00 (9:30開場)
 第2部 4大学連携合同市民シンポジウム 13:30~16:00

【本拠点における5年間の取り組みについて】

【都市部におけるがん医療の課題と方策について】

【パネルディスカッション】

【参加無料】

【お問い合わせ先】
 東京女子医科大学がんプロ事務局
 E-mail: top-g4.bm@twmu.ac.jp

【主 催】
 東京女子医科大学、杏林大学、帝京大学、駒澤大学
 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
 「都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育」
 TOP Tokyo Oncology Professional

9. コース受講生のコメント・進路の内訳

がん地域遠隔画像診断支援技術者養成コース 平成26年度修了生

がんプロのセミナーでは、様々な分野の臨床で役に立つような講義が聴けて、すごく勉強になりました。また当時、大学院生で臨床現場に出る機会が少なかった私にとっては、実際に臨床現場でご活躍の先生方と交流できる機会でもありとても有意義な時間となりました。現在、私は放射線技師ではなく違う分野に身を置いています。がんプロで得た知識や経験は現在の分野においても大変役立っております。

がん地域遠隔画像診断支援技術者養成コース 平成26年度修了生

近年診療放射線技師の業務拡大に伴い、我々診療放射線技師に対して読影力がより求められる傾向にあることから、在学中は提携医療施設から提供された医用画像を指導教員と供覧しながらその基礎を学んだ。

現在はMRI・CT検査を中心に放射線診療に従事している。実際の現場では予約数が多く検査時間が限られているため、その中で如何に診断に有効な画像を無駄なく撮影できるかが非常に重要である。そのような状況下で、異常所見の有無を判断し場合によって検査中に撮像条件の追加・変更の提案を行うことがある。その際に大学院での経験が生かされていると感じている。

がん地域遠隔画像診断支援技術者養成コース 平成26年度修了生

私は、「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の「がん地域遠隔画像診断支援技術者養成コース」を修了させていただいた。開設初年度ということもあり諸先生方も手探りであったと思われませんが、実際に臨床の画像に対して読影医がどのような読影をしているのかを間近で見ることができてよかったです。しかし、もう少し他のコースと差別化を図って画像読影の仕方の講義を増したり、「医学物理士養成コース」みたいにこれを修了すると何かしらの認定(証)をもらえますみたいなのがあってもよいかと思われま。

がん地域遠隔画像診断支援技術者養成コース 平成27年度修了生

我が駒澤大学のテーマは「都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育」でした。年に数回診断部門、治療部門においての勉強会が開催され、私達学生はそれに参加して参りました。これらの話は大変興味深いもので、講演して下さった先生方の体験談や稀有な症例の紹介をしていただきました。その他には、4大学合同による「原発不明がん」というテーマによるカンファレンスがあり、医師、看護師、ケアマネジメント、診療放射線技師など様々な業種による「原発不明がん」に対するアプローチをディスカッションすることで大変有意義な時間となりました。特に我々診療放射線技師は一人の患者さまと接する時間が短いため、緩和ケアなどの話が新鮮で非常に為になりました。

医学物理士養成コース 平成27年度修了生

医学物理士養成コースでは、がんの放射線治療に関わる専門的な医学物理学の知識に加え、放射線治療の保守点検や精度管理など、放射線治療の重要な専門的知識について学ぶことができました。また保守点検や精度管理においては、病院で実習を行うことにより、より臨牀的に深く学ぶことができ、今後放射線治療に関わった際の有用な知識を修学することができました。

進路の内訳(平成28年4月現在)

	がん地域遠隔画像 診断支援技術者 養成コース	医学物理士 養成コース
大学病院勤務	2	
自治体総合病院		2
一般総合病院	1	
大学院博士後期課程進学	1	1
獣医学部進学	1	
修了者数 計	5	3

駒澤大学大学院 医療健康科学研究科
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

〒154-8525

東京都世田谷区駒沢1-23-1

HP: <https://www.komazawa-u.ac.jp/about/effort/mext/ganpro.html>

平成29年3月発行